地域版 南薩

南薩支局
加世田市村[illegible]
☎0993-52-21[illegible]
通信部
加世田
指宿
枕崎

ニュース・企業・催し物・人事・支店・支部・団体などへご連絡下さい。

補正議決後に設計委託

枕崎市立病院建替え

枕崎市立病院（鴨河泰之病院長）はこのほど発表された9月の市立病院特別会計補正予算案で、病院棟の老朽化による建て替えに伴う事業費を上程しており、9月議会での議決を経て設計に移りたい意向を明らかにした。

今回の建て替え対象となっているのは、W造平屋建ての18床。入院患者の生命を守り、安心して療養してもらおうと、今日までセメント瓦の張り替えなどの増改築を進めてきたが、築後30年余りが経過し、白アリによる被害が著しいことから、今回の9月補正に予算案を上程することになった。

今後は、9月末の本議会での議決を経て、設計委託に移りたいとしており、建物の構造・着工時期・工期などの詳細については未定としている。

愛宕山地下壕埋戻し

年度末までに工事発注

山川町

揖宿郡山川町は、河川等災害対策関連事業として、同町福元地区の愛宕山のふもとにある地下壕の埋め戻しに伴うボーリング調査を年内までに行い、調査結果を受けて年度末までの期間で、埋め戻しを行う計画だ。

同事業は、同町福元地区の愛宕山頂上に、地元住民らが交遊する敷地（公的に定められていない交遊地）があり、その山のふもとに大戦中に作られたとみられる地下壕（推定延長約120m）があり、平成14年に頂上部の地盤が陥没したことで、このまま放置した場合には人命に関わる重大事故を起こす危険性があることから埋め戻し工事を行うもの。埋め戻しに伴う工法は、エアミルク注入工法の採用を検討しており、事業費は1140万円を充てる。

予定では、今月までに約120m）。そこで、これからの調査結果次第では、年度末までの事業期間を16年度以降まで繰り越す可能性もあるとしている。

インタビュー席

頴娃町長 山内 廣行 氏 (下)

――今後の公共事業の在り方と建設業者について

同町が進めてきた畑かん事業をはじめ、箱モノ関係の建設事業などがほとんど終わってしまった。公共事業に対して景気浮揚とならないで賛否の声が聞かれるが、少なくとも頴娃町に関しての公共事業は、基幹産業として極めて大きなウエートを占める。しかし、財政的に極めて厳しい状況であることから、今まで整備していた道路整備の本数を減らしたり、地域からの要望・陳情を反映して優先的に予算化していくような取り組み方になっていくことになると思う。建設業者の方々も、今まで町政推進に対して並々ならぬご尽力いただいている方々ばかりなので、非常に心中察するところもあるのだが、これから生き残っていくためにも、できる限り社内体質の改善をするための工夫をしていただくなど、将来を見据えたかたちでの自助努力をしていただきたいと思う。

建設業者 社内体質改善等に努力を

略歴

昭和31年に、頴娃高校を卒業。同年7月には、同町役場に臨時職員として入る。その後、40～42年までを県の地方課で研修を受け、52年には町の教育委員会課長、財政係長、企画課長、選挙管理委員会書記長などを歴任するなど、平成9年に退職するまでの約10年間のほとんどを「総務畑」での激務に従事。退職後には、郡地区の公民館長なども務め、その後、町長選へ出馬。見事当選を果たし現在に至る。

趣味は、ゴルフとバレーボール。特に、学生時分から続けているバレーボールへの執着は強く「暗くなるのを忘れるまで練習し過ぎて、気付いたら周りが真っ暗になっていた」というほどのバレー好きで、現在は、町のバレーボール協会長も務める。

好きな言葉は「誠意」。「どんな人にも誠意を持って接すれば、必ず理解してくれる」と語る氏は、町民との対応の仕方に関する職員への指導にも人一倍注意を払う。「良いことも悪いことも、職員が町民から受けた評価は全て私の責任。それをしっかりと理解してもらうためには、やかましく言わせてもらう」と熱く語る。

現在、和代夫人と氏の母親のナツ氏（88歳）と共に町内に3人暮らし。66歳。

県内初「砂丘再生特区」が認定

加世田市

市役所内に推進室設置

国の構造改革特区構想で、加世田市が申請していた「砂丘地域再生振興特区」が県内で初めて認定され、その認定書の授与式が8月29日、東京都の首相官邸で行われ、同特区に認定された47特区の申請代表者の一人として出席した川野信男加世田市長に、小泉純一郎首相から認定書が授与された。

同日は午前11時から、首相官邸大ホールで行われた授与式では冒頭、小泉首相が「地方や民間企業の力こそが、今の日本経済の復興・社会再生を図るうえでの大きな起爆剤になる。失敗を恐れず、国の構造改革に則り〝地方から国を変える〟くらいの気合で取り組んでいただきたい」と代表者らを激励し、代表者ら一人ひとりに認定書が手渡された。

今回の認定書授与について川野市長は「これからが正念場。できる限り多くの企業が参入していただくための体制づくりと、地域の資源を生かせるように努めていきたい」と抱負を述べた。認定授与を受け同市では、これからの同特区の開発推進拠点として市役所内に「海浜地域特区推進室」を設置。今後は、特区の参入についての説明会や企業の募集などを行っていく予定だ。

認定書を受け取り小泉首相（右）と握手を交わす川野市長＝東京都の首相官邸で

海浜地域特区推進室

推進室の看板を設置する川野市長（左）＝加世田市役所で

今回認定された特区は、吹上浜の方之瀬川河口以南より南側に位置する小湊千拓までの約450㌶。主に、ラッキョウや葉タバコなど、砂丘農業が盛んな地域（農業生産額は同市全体の約26%）である一方、小湊地区を中心に約100㌶を超える遊休地が点在している。特区では、農業生産法人以外へ貸与が可能になるほか、自治体・農協以外の一般市民が農園を開設することを可能にすることで、市民農園開設者の範囲拡大を図ることなどを目的としている。

あのひとこの人

加世田川畑 土木部主任

寶代 洋爾さん

仕事内容は。

――現在、知覧中央浄化センター増設工事の現場管理を担当しています。

仕事上心がけていることは。

――当然ながら、安全第一を優先に、工期短縮を努めることと、出来高を出来る限り設計値に近づけることを重点に置いて、業務に取り組んでいます。

新設工事の時は、現場横の瀬川になかった水薬が、今では多数生育していることですね。

――近くのお薦めスポットは。

東シナ海の堤防での魚釣りです。たまに、シマアジが釣れますよ。

――今後の目標は。

とにかく、健康第一に65歳までは元気に働きたいですね。

（知覧町）

24時間
迅速な作業と適正価格でまごころサービス
エレベータ・エスカレーター
立体駐車場全般
保守点検専門
マーキュリーアシェンソーレ㈱
本社 鹿児島市下荒田1-20-6 TEL(099)257-9113 FAX(099)251-9418
支社 鹿児島・福岡・東京

安心システムで21世紀の躍生を追求する
㈱南栄技研
鹿児島営業所 鹿児島市中山町1406－1 ☎(099)260-5100
鹿児島 姶良営業所 姶良郡牧人町西光寺前田118-10 ☎(0995)43-2972
分室 川内市高城町1688 ☎(0996)27-1996
霧島営業所 霧島市東原3172－6 ☎(0994)40-9360
川内営業所 東郷町斧渕字大芋花見手樋山1720-13 ☎(0996)30-9560
八代営業所 八代市上片町135－1 ☎(0965)35-4875
都城営業所 都城市都北町7411 ☎(0986)38-5120
熊本 福岡営業所 東区伊都門川町大字加夏字深迫616-1 ☎(092)63-5458
本宮営業所 熊本郡植木町竜甲字西池上2074 ☎(096)273-3556